International Petroleum Investment Company（IPIC）との戦略提携並びに第三者割当増資について

2007年9月19日

コスモ石油株式会社

代表取締役社長　木村彌一

本日のご説明内容

内容	ページ
IPICとの包括的戦略提携の内容	1~2
IPICとの提携の意義について	3~5
当社の成長戦略分野における IPICとの共同事業案件の方向性	6~7
ご参考資料	8~12

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

IPICとの包括的戦略提携の内容①

■当社は第三者割当により新たに普通株式1億7千600万株（本件新株発行後の発行済株式総数及び潜在株式数合計の約20%に相当）を発行し、IPICによって設立された特別目的会社（SPC）であるInfinity Alliance Limitedに割り当てる。

■Infinity Alliance Limitedによる当社株式の取得は、当社とIPICの間の長期的かつ戦略的な関係強化を目的とするものであり、当社の企業価値の向上を通じて、全てのステークホルダーの利益の極大化につなげるため、IPICと相互に緊密な連携を図る。

■この資本提携に伴い、当社の株主総会の決議を経たうえで、当社はIPICから2名の非常勤取締役を受け入れる。

■双方の代表者からなる定期的な協議機関を当社内に設置し、共同事業案件等の検討を行なう。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

IPICとの包括的戦略提携の内容②

■最初の共同事業案件としては、当社製油所の更なる高度化・高付加価値化（含石油化学事業）、環太平洋地域（含米国西海岸）における石油製品販売事業の拡大、アブダビ首長国外（アジア／その他地域）における新規油田開発、LPG事業及びALAを活用した肥料事業の国際展開等、多岐に亘る分野で両者の収益力強化に資する案件を模索する予定。

■IPICと緊密な関係にあるアジアおよび欧州のエネルギー会社とも相互に連携し、製品融通や共同投資のための国際的かつ互恵的なネットワークの構築を目指す。

■今回の提携は排他的なものではなく、双方が築き上げてきた他のパートナーとの関係に影響を及ぼすものでもなく、また今後とも双方が其々にあるいは共同で様々な事業提携や共同事業の可能性を追求していく。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

IPICとの提携の意義について①

■産油国との強固なパートナーシップの確立/安定供給体制の強化

当社にとってアラブ首長国連邦（UAE）は最重要国家の一つであり、これまでも様々な交流を通して相互の信頼関係を醸成してきた。

●UAEとの良好かつ強固なパートナーシップにより、長期的な安定供給体制の強化が図られる。

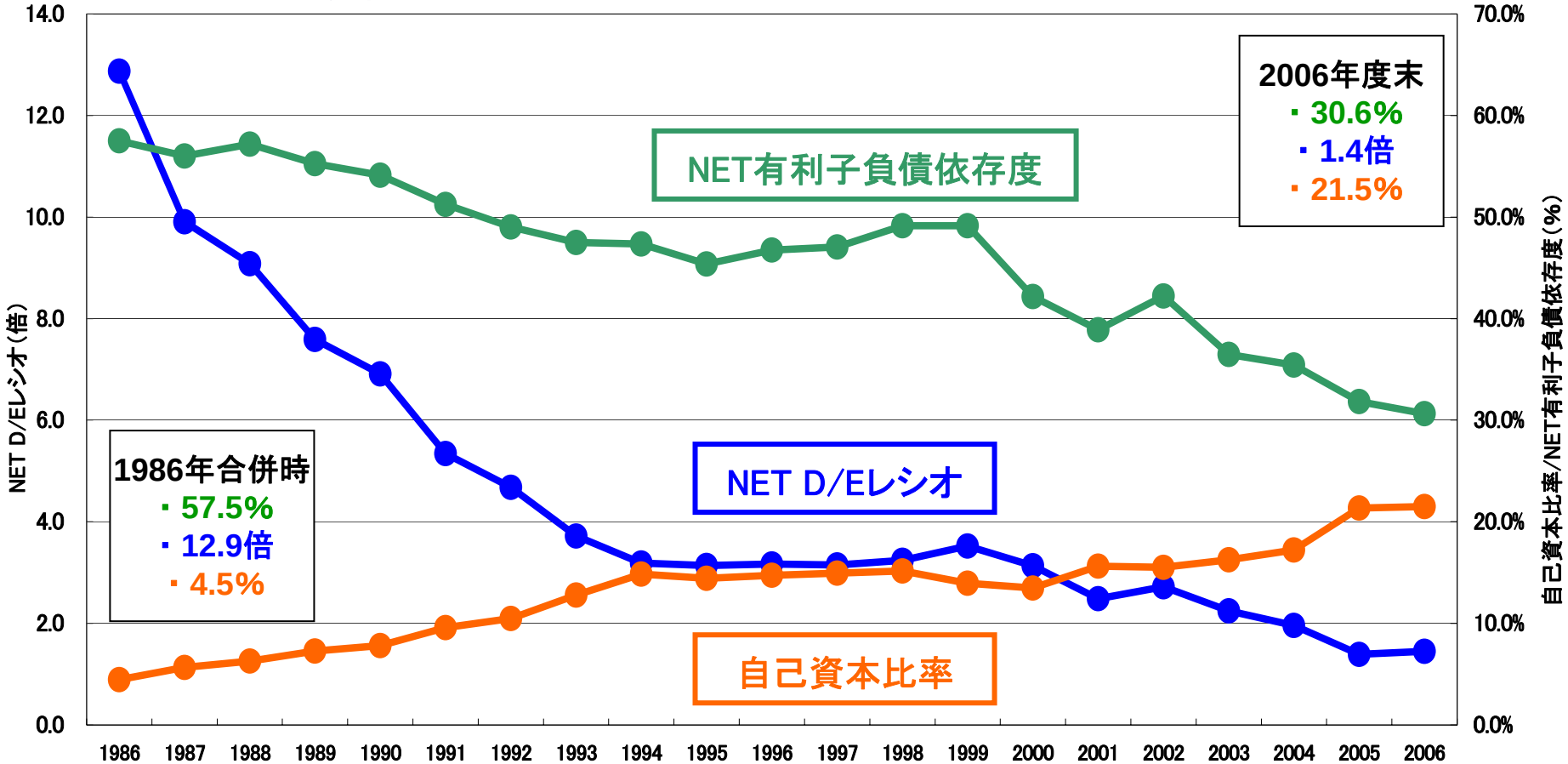
●一企業の枠を超えて、わが国のエネルギーセキュリティ強化にも繋がると考える。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

IPICとの提携の意義について②

■成長戦略を実行する基盤となる財務体質の強化（安定化）

■財務体質改善の推移



Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

IPICとの提携の意義について③

■共同事業案件の実行による「製油所高度化・高付加価値化（含石油化学事業）」「石油開発」「新規事業」分野等での競争力・収益力の一層の強化

当社の中長期成長戦略分野

- ■供給体制の高度化
- ■石油開発事業の強化
- ■海外販売（輸出）の拡大
- ■新規事業等の拡大

第三者割当増資による
安定的財務基盤

戦略提携（共同事業）の実行

コスモ石油
経営資源

＋

IPIC
・国際的ネットワーク
・潤沢な資金

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

当社の成長戦略分野におけるIPICとの共同事業案件の方向性①

【供給体制の高度化】

製油所高度化・高付加価値化（含石油化学事業）

【海外販売（輸出）の拡大】

環太平洋市場（含米国西海岸）における石油製品販売事業の拡大

【石油開発事業の強化】

アブダビ首長国外における石油開発事業の強化

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

当社の成長戦略分野におけるIPICとの共同事業案件の方向性②

【新規事業等の拡大】

新規事業（ALA事業等）の拡大

LPG事業

その他　IPICと既に協力関係にあるエネルギー企業とも多面的な協働を検討。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【参考資料】International Petroleum Investment Company(IPIC)の概要

- IPIC（International Petroleum Investment Company）は、長期的スパンでアブダビ首長国外の石油・ガス分野へ投資を行っているアブダビ国営投資会社。

- 1984年に設立され、これまで8社に投資しており、現在も株式の保有を継続。

- 推定投資総額は100億米ドル超。

- IPICはアブダビ政府全額出資会社。

  取締役会のメンバーは、議長を首長一族のシェイク・マンスールが務めているほか、同国石油業界の要人もメンバー。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【参考資料】アラブ首長国連邦（UAE）の概要

アラブ首長国連邦は、7つの首長国（Abu Dhabi,Dubai,Sharjah,Ajman, Umm al-Qaiwain,Ras al-Khaimah,Fujairah）からなる連邦国家です。

■国名：アラブ首長国連邦（UAE)

■首都：アブダビ

■建国日：1971年12月2日

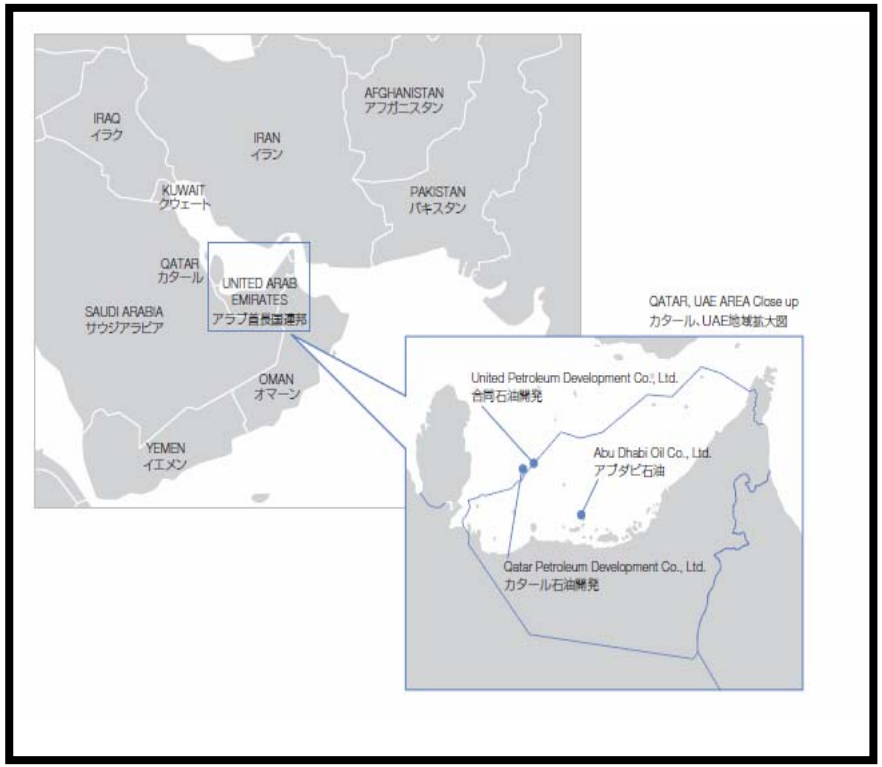
■位置：アラビア半島の東南に位置し、三角形のような領土をもち、アラビア湾の南・東南海岸とオマーン湾の西海岸を形成している。

■面積：約83,600平方キロメートル

■天然資源：主な資源は石油と天然ガスで、その多くがアブダビに位置している。

■人口： 410万人 (2005年国勢調査による)

■言語：アラビア語

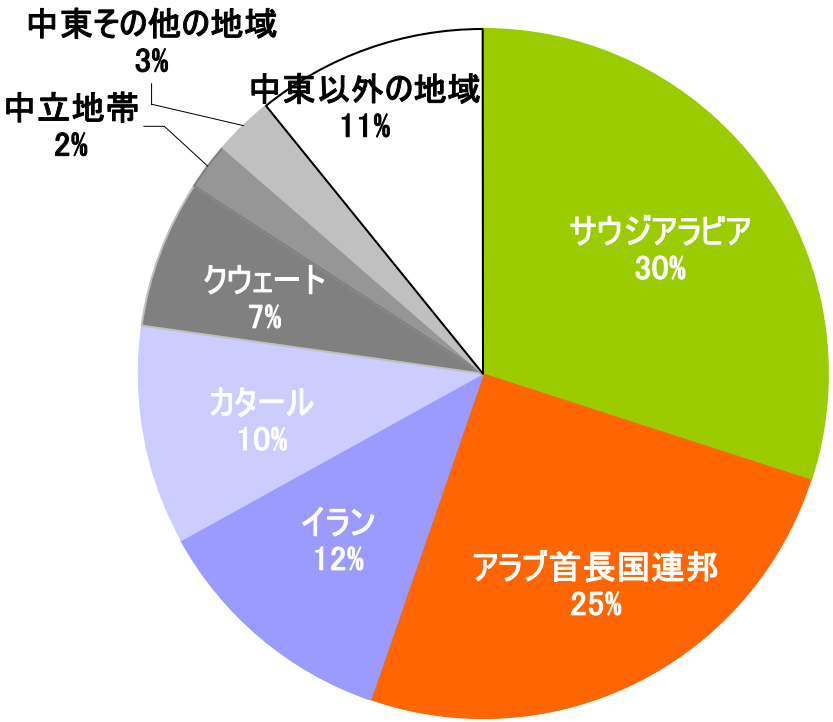


Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

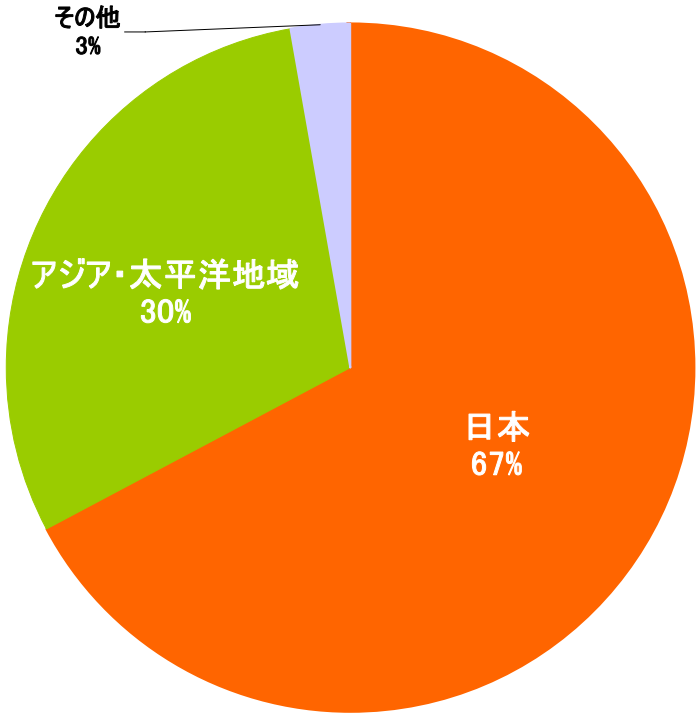
【参考資料】産油国との強固なパートナーシップの確立/安定供給体制の強化（1）

【アラブ首長国連邦と日本の密接な関係】

日本の原油輸入相手先（2006年）



アラブ首長国連邦の原油輸出先（2006年）



アラブ首長国連邦は日本にとってサウジアラビアに次ぐ原油輸入相手先であり、アラブ首長国連邦にとって日本は最大の輸出相手国。

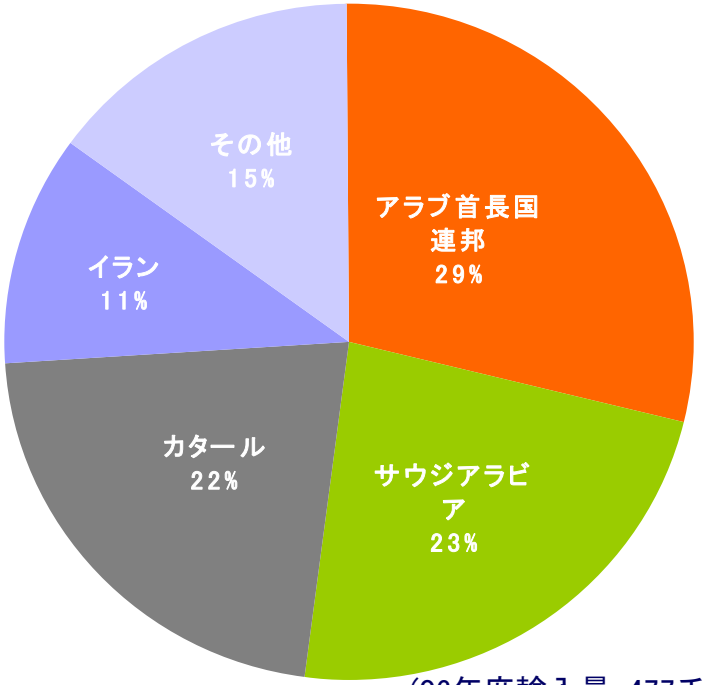
Note：データ出所：経済産業省、OPEC

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【参考資料】産油国との強固なパートナーシップの確立/安定供給体制の強化(2)

【アラブ首長国連邦とコスモ石油の密接な関係】

■コスモ石油の原油輸入相手国の内訳



(06年度輸入量:477千b/d)

■コスモ石油のUAEにおける取組み事業

【原油開発】

●アブダビ石油(当社持分:62.6%)
設立:1968年(商業生産開始:1973年)
2006年生産量:22千バーレル/日

●合同石油開発(当社持分:35%)
設立:1970年(商業生産開始:1975年)
2006年生産量:18千バーレル/日

コスモ石油は原油購入、原油探鉱・開発・生産事業を通して、アラブ首長国連邦との信頼関係構築に努めてきた。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【参考資料】産油国との強固なパートナーシップの確立/安定供給体制の強化（3）

【アジア/環太平洋地域におけるエネルギーセキュリティーの必要性】

■世界石油需給動向の見通し

世界需要想定(Reference Scenario)

＜百万B/D＞

年	2005	2010	2015	2030	05-30伸率
OECD 北米	24.9	26.3	28.2	30.8	0.8%
OECD 欧州	14.4	14.9	15.4	15.4	0.3%
OECD 太平洋岸	8.3	8.6	8.8	8.9	0.3%
ロシア	2.5	2.7	2.9	3.2	1.0%
他旧東欧諸国	1.8	2.0	2.1	2.5	1.3%
中国	6.6	8.4	10.0	15.3	3.3%
インド	2.6	3.2	3.7	5.4	2.9%
他アジア発展途上国	5.4	6.1	6.9	9.0	2.0%
ブラジル	2.1	2.3	2.7	3.5	2.0%
他ラテンアメリカ	2.8	2.8	2.9	3.5	0.9%
北アフリカ	1.4	1.6	1.8	2.5	2.3%
他アフリカ	1.3	1.5	1.7	2.4	2.4%
中東	5.8	7.1	8.1	9.7	2.0%
国際船舶油	3.6	3.8	3.9	4.3	0.7%
総計	83.5	91.3	99.1	116.4	1.3%

世界供給想定(Reference Scenario)

＜百万B/D＞

年	2005	2010	2015	2030	05-30伸率
非OPEC	48.1	53.4	55.0	57.6	0.7%
OPEC	33.6	35.9	42.0	56.3	2.0%
内サウジ	10.6	11.6	13.3	17.3	1.9%
内UAE	3.0	3.4	4.0	5.1	2.1%
処理による液収アップ	1.9	2.0	2.3	2.5	1.1%
総計	83.6	91.3	99.3	116.4	1.3%

日本を含むアジア圏は原油需給タイトとなり、
中東依存が高まる見通し。

コスモ石油はアラブ首長国連邦との密接な関係を基盤に日本のエネルギーセキュリティに貢献し、企業として日本におけるプレゼンスを高めることが出来る。

Note：データ出所：IEA

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【参考資料】連結財務諸表ダイジェスト、発行済株式数

■連結財務諸表

※単位：億円，%，倍

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
売上高	19,163	21,546	26,706	30,627
営業利益	252	657	1,112	696
経常利益	195	632	1,196	748
当期純利益	82	264	618	265
総資産	12,601	13,231	14,636	15,792
NET　有利子負債額	4,598	4,688	4,658	4,838
自己資本※1	2,048	2,279	3,125	3,397
ROE	4.1%	12.2%	22.9%	8.0%
ROA	0.7%	2.0%	4.4%	1.7%
NET　有利子負債依存度	36.5%	35.4%	31.8%	30.6%
自己資本比率※2	16.3%	17.2%	21.4%	21.5%
NET　D／Eレシオ	2.0	2.0	1.4	1.4

※05年度以前のデータは株主資本を記載しています。
※05年度以前のデータは株主資本で計算しています。

■発行済み株式数

発行済み株式数	631,705,087	631,705,087	671,705,087	671,705,087

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.